晚軍名八日午前

福田を作びれたのでは、日本は一番のでは、日本は一番のでは、日本のでは、日

三、七日養間におけるり軍の、八日朝愛化なし 一大商優化なし 一大商優の回場院方面におけるり 一大商優の回場院方面におけるり 一大田教師の回場院方面において 日本を掲げし外降者一名、未沈峰 一名、大沈峰 一名、大沈峰 一名、大沈峰

取あて難いりくの

【東京國油】外務省スポーク をの會見において: 今職二時張跋峰前面のツ軍 会職二時張跋峰前面のツ軍 は后峰頂上のわが睡地に對 は后峰頂上のもが睡地に對

方に相當の損害ある見込なり軍は至く撃退された、双甲、為弾験の後、間六時中間したが、わが兵は断然反阻したが、以下時中間上を距る二百米の線に流

韶

雅々切下間あ を寄せさせ続いる を寄せさせ続いる。 を寄せさせ続いる。 を寄せさせ続いる。

のる、これ等華人のから可能と強想され

時廿五分發表

· 夜男 そ奨少

香港を中心に

「他コックチャファー號コック ・完全に保護されてゐる外國人 完全に保護されてゐる外國人 ・完全に保護されてゐる外國人

ク砲人で江

の六十翁が

が、北京書局 の種々の方策 の種々の方策

回復助成のた

ロックは強

は海鵰条戦さ

北京當局

が不安定なるものあり復居に が不安定なるものあり復居に れるが、博山附近一帶の忱見 れるが、博山附近一帶の忱見

常の比昇の比昇

出征を志願

腺プロツクの設立すべく準

第の保護に感謝してゐる 本版長は七日漢ロイギリス

英砲艦々長日本軍に威謝

智も行ひすこぶる大規模なものである智を行ふに決定した、損智は置火管制、防灌訓練等のほか飛行機必要参加、夜間資智を行ふに決定した、損智は置火管制、防灌訓練等のほか飛行機必要参加、夜間資料を中心に除海空三軍共同の大攻防機資

英陸海空軍共同攻防演習

にホノルル七日酸國道)事變 の老人で第一線へ出征し最後 の海率公をしたいど熟誠をこ める請願書を認め總領事館を 通じ板垣陸相に出願すべく名 乗りを舉げた一同胞がある。 乗りを舉げた一同胞がある。

軍白旗を掲げ

長力約百、砲二、三門ある ものム如し ・ 敵砲兵は本日も依然砲撃 作日ほど活波なり、敵飛行機の 一の至三平野地射撃を行ふ 一の至三平野地射撃を行ふ 場合においてもその高度比

公報が建し

松井少

第二大会見に脳 をソ軍が郷回し く取るに足らぬ また七日電光。

回したとの報は全

上露百五十萬トン 、津浦治線の治 は以次設備作業

してるない冒いた、回したとの報は全地に関しては未だ何

極化を辿る英佛よりも寧ろ

上海に到着

八權益は

完全に

保護さる

111

石炭共販會社

沙東

政立準備進む

長沙方面への各列車そ

選嫌者の輸送に大盗となつて

下らず、當局は宜昌、電慶等上強方面へは軍事機關を残すのみとなり職職の関迫

競を越えポーランド 國境都市 はチエコ政府に 展軍抗議する ことゝなり、その旨プラーグ ことゝなり、その旨プラーグ

ズデーテン鴬

家屋稅

賦課

五二〇三〇部電

▲ 演非弘氏(書語商) 同 ▲ 勝田政八氏(独江木材) 同 ・ 協館 ・ 協館 ・ 協館 ・ 本 の 本 の 本 の 本 の 本 の 本 の 本 元 ん (食 社 員 ) 同 村 ・ 協館 ・ 協館 ・ 本 市 ル ( 文 歌 公 司 ) 密 ・ 本 市 ル ( 食 社 員 ) 同 村 ・ 本 市 ル ( 食 社 員 ) 同 村 ・ 本 市 ル ( 食 社 員 ) 同 村 ・ 本 市 ル ( 食 社 員 ) 同 村 ・ 本 市 ル ( 食 社 員 ) 同 村 ・ 本 市 ル ( 食 社 員 ) 同 村 ・ 本 市 ル ( 食 社 員 ) 同 村 ・ 本 市 ル ( 食 社 員 ) 同 村 ・ 本 市 ル ( 食 社 員 ) 同 村 ・ 本 市 ル ( 食 社 員 ) 同 村

地方議會案

家賃

は

房捐

を改稱

に過ぎれ

はその

機移行さ

8

# 田田

刊 7

五五五 拾拾五 餘錢錢超

9

介勇忠 〇五社

新貨馬銭州州

中午前七時盲引

缴

重役會

議

開

るので

軍で來京直ち 事で來京直ち の少額のムち のか部に植

トホテルにて外京の開富面の諸問題

田軍司令官、磯東年前十時半闘東

武部、人村

に亘つて食見を送一 物省中央課長と前 物の宿舎アル て六日午後

前のため揃つでモラヴアにドライツを試みたが肝腎のヘンライン常当の所在は全く最初に対されてをり、ランシマンに附されてをり、ランシマン不明である

乾

◆美代海一郎氏(鴨綠江航運) ○ 会安部岩市氏(鴨手)同

去る

電要問題につき審議を遂げ に即應した補鏡機構改正共潤非幾外係主任祭印席新時 他代 以来断に一部出炭共

として山東鰕遠株式自社をの原則を樹立、右會社の主 開倉趾は

本テル 本サロー二は、(報易商) 同 本が国内に、(報場) 同 本を選出し、(電更) 同 本を選出し、(電更) 同 本を選出し、(電要) 同 本を選出し、(電要) 同 本を選出し、(電要) 同 本を選出し、(司法代書) 同 本に、(司法代書) 同 本に、(司法代書) 同 本に、(司法代書) 同

聞スレバ

?かうよしでたしまり

ユビデルーガスビーサ

ロボッナ

高級

上生菓子

中小商工金融 輕便迅速





### 日九月八年三十和昭 時後の蔣は國民改訂とで ・ あのとみられる、即ち四川移 ・ のとみられる、即ち四川移 ・ のとみられる、即ち四川移 ッ漢ロ放薬後弱體化のテン を通じては不即不懈の立場である一方 直慶移轉の外交締 ソ支接近を極力防止 對支援助消極 趣的に次第に赤化の魔

九日朝上完

佛、伊、

遣歐使節團

エコ軍用機 海護の後定である し 「プラー/六日酸園通」ズデレーテン黨は六日チエコ政府提出にからる少數民族法案中の地方議會設置案につきドイツ 少數民族の利益を無視する。 して反對賞見を競表した るが、右は全く値上げ理由と チエコ政府の提唱する少数 最近対京市构其の他の地方で 民族法案によればズデーテ 制方策をとる壟削から左の知 マ・ドイツ人はチェコ人口 く説明し各居住者は斯かる要 いて依然とし少数民族の地 意を要望してみる いて依然とし少数民族の地 意を要望してみる

ずるかりはなく後来各地方に於て扇間を保護を 相を検はなく後来各地方に於て扇間を がない許りかな一した課税して必然で で数一とにで統一した課税して必要 で数一とにで統一した。 で数一とない、そして各地方に於て房 を必要に、名と同時に認めして必たのを であったのが家屋税してるたのを であったのが家屋税 であったのが家屋税 であると同時になるものを であったのが家屋税 であると同時になる のであったのが家屋税 のであるがのであるが のであるが のでな のでな のであるが のであるが のでなが のでなが のでなが のでなが のでなが のでなが のでなが のでなが

開議、火定事項を可決所で開催、左の事項を可決所で開催、左の事項を可決

(一) (一) (一) (本語) (本語

(二) 為香管理法中改正の

體に山東鉱業を充っ

の紀炭を強想され

っ、一方北部野済線プ にも優めて好概合に進

高

湯

政人呼

いことの姿質なるを想はざる

現實主義、それを學び知る には蔣政権没著や限のあたり、

(以務處長) 國務院辭令

の日く

人 事 主 京

立伏、株機いは

脱火妨害する なほ夏郷の加く整動するも

大陸サいろんな現實が暴露さ

通

▲中村提大氏(宮史)七月東京ヤマトホテル 東島美吉氏(會社員)関 ▲小川平生氏(籍杭)中央ホ

一提氏(九大教授)同

大樓正一氏(電通)大 石川洋剛氏(同)同 石川洋剛氏(同)同

はる場

東省實業株式會社

立秋ふけ。

列車の殺傷二件

京で開催された日米男生資

古、海中 將 逝去 (京都関通)京都市伏見區下 を下、第十七郎願長を脈任、 会官、第十七郎願長を脈任、 会官、第十七郎願長を脈任、 となる。 本で自宅に擦覆中、七日午 がは、 のでは、 のでな、 ので、 のでな、 のでな、 のでな、 のでな、 のでな、 のでな、 のでな、 のでな、 のでな、

着一股(MMM) 三日目取

蘇組

高肥神加 四陸 能雲 州武市海 斯伽 登山山川 被錦洋嶽

巴装錦大藤射 鼠子 薬和ノ木 薬 潤者山錦 里川 機昇

列着兩宮 報約 庭不 女 士 ケノ 島島 川石 國教 嶽里洋川

動東大人 / 包笠 X 出 田栗 写 流 / 羽 山山山湖 川山 淡海

五名録九 旧瀬 ツ等ノ州系氏 島岩 里山 孔山

▲七・四〇講演「防衛訓練に 就で」三浦級事▲八・〇〇日 伊國陸放送(ローマより)▲ 無外四曲」美丸外▲九・〇〇日 東京)大矢 東京)大矢

明

一大太倭白大

が場

目目

主なる放送

◆大相撲 一本社後接完常戲歌級表會、 一種八時、西廣場海鐵俱樂

九

るた一勝負は場内

か

五、響放管制中乘用馬車は吉野町(東二條通く西中央通 野町(東二條通く通科タイヤ 間)東一條通(通科タイヤ で通者は左記交通信 配を遵守すべし

個、百萬以上、五十萬以上各三個といふ感心すべき不成績 振りに直ちに製品改良方を通 振りに直ちに製品改良方を通

で車をするも間 一端洲国人が類 を が類すが興安橋

朝七時忠媼塔前で

語捧讀式

汚染地に指定さ

**干五百米自由** 

型

新人天野君

不侵の 部級といはれた程であるた。 お公認されない、他の一つは、 を作ったというの十秒、二百米 自由形に二分十秒、二百米 自由形に二分十秒、二百米 の日

世界

新記

新京聯合分會で舉行

間は約一時間の見込み

所要時

端洲國鐵壁の防疫陣を潜り不 幸率天、大連にコレラ設生の 要型り全補の防疫機關は被害 を最少限度に止める可く最善 で、星ヶ浦、老虎灘頭は物 で、星ヶ浦、老虎灘頭は物 が汚染地帶と指定され一般 遊泳魚介の採集が禁止された ので、星ヶ浦、老虎灘頭は物 ることになつたから、同方面 ることになったから、同方面

三段跳の

衛防空防の都國

(=)

T ンる

蕩的な電飾はばつたり姿を消すに至り市民に一層非常時意識を呼び起してゐる廣告有板等電飾の一齊消燈を命じた、これにより國都の空を紅紫の光芒で染めてが滿洲國首都警察廳では六日線監の名をもつて同日より當分の間全市のネオンサ非常時下歡樂街の瀟正については各方面より種々意見を提出し當局の奮起を促し しで染めてゐた淫

事あつた場合鐵道の破壞に依 る新京市内への輸送社絶に備 へて食物の貯嚴庫等を計量す る一方、水道タンク、設電所 の使用不可能となつた場合を 想像して豫備發動機を購入し て防空、防衛準備の平常化に で防空、防衛準備の平常化に

1、警笛信號
長藤-東西停止、南北進長藤-東西停止、南北進

では八日午前九時から首都警察庭裏庭で總會を開催したが保安科ではこの機に最近交通事故の都愛、瞬節馬車夫の横の調示を行ふと共に、近く行はれる防空燈火管制の意義及が資施要項をニーヤ遠にもわかる様にと噛んで含める様にもある様にと噛んで含める様にも

たまらずその上ホームシック たまらずその上ホームシック にたり途中旅費を荒稼ぎしな がら闘郷しやうと友人からブ ローニング等銃と弾丸十三設 手初めにと八日午前六時頃和 順場管内四家子で待伏せして ある上折から東三馬路居住馬 同(二三)、馬祥(二〇)と いふ兄弟の工人君が寅家の吉

に拳銃、左手に尊苅磯を持つ でやつて來たので良き場ござ

思セ林

義理の 親子

見した、原因 だまょ行方不 だまょ行方不 がままれた方不 係官も呆れる

一種 は大びらでこれ見よがしにかよりましたと訴へて来たのでそれは、大變と張、孫、呂三刑事が証したと訴へて来たのでそれは大変と張、孫、呂三刑事が証は、「四の親娘の間の子供の妻としたと言はんばかりは先年亡と言はんばかりを命じたを立てた田氏がから密通してゐて、死後と最、孫、呂三刑事が証は、「四の親娘の間の子供の妻としたのは、「四の我娘の間の子供の妻とでもは、「一種」と言はんばかりまった。「一種」と言はんばかりを命じてなると、一種、「一種」といる思いない。「一種」といる。「一種」」といる。「一種」」は、「一種」

松山教授※京京大教授祭山博士は八日午後京大教授祭山博士は八日午後

森田良作氏赴任

展東局教務部県新課森田良作 受轉ハ日午前十時設はとで赴 任した

行

事

滋養タップ 9 **被選等々五百餘點** 支那古代金石、書畵、硯墨、 新 京 入荷 念 公 合

翁翠行種、

各國

堂

構成社圖案房 「基本社画家房」

玄米茶 太子堂前電話 9

結局五骨二で補鐵取退した時より龍山コートにて墨行、「京城國通」第四回浦鐵對鮮 對鮮鐵庭球戰 鐵敗退

大石茶舖 六四二七華

時九後午一時九前午間時療治 紅

新京永樂町二丁目四八名八七指天奉節 書 進 显 療院出 111

亦 盜 の苦 ち捕はる

清和市高砂町元浦州國桑護 大洞湖で 溺死 大洞湖で 溺死 オ (一七)は オ (一七)は ル弟に 捻ぢ伏せらる

に合はず右足首を切断、頭部 に合はず右足首を切断、頭部 生命は取り止めることが出来 た、此の男は曹富と言ひ年齢 三十一、二才であるがなほ意 歌不明瞭で、自殺の意思があったものか或は過失かその原

附近線路上に機設されたと覺 一時頃線道警機験へ再び開地 一時頃線道警機験へ再び開地

司法係は全員出勤目下實地檢言。不氣味な通報があり開設 2000年で率天へ出版の豫定でが一条で総舎の後間十一時四十分を開資から入日午後十一時間十分 挨拶に楽祉した 長に葵轉した 四 り

投物に来社した 投物に来社した 現場を表から郵政総局 新金融組合理事

一氏は八日飛任狭拶に來社し 新任新京金剛組合理単近傷薬

福分 段 長赴任 大少佐は八日午前十時三十五 大少佐は八日午前十時三十五 分競列車で官民多數見送りの 福武 <sup>養保</sup>庸 格員人

岩茅名

31 格 高等小學科卒業程度の年齢上六 右希望者は自筆履歴書特等至急本等會計科へ出頭せら 北度 北度

部

和

讓



二十分 前列車で東男女六十四名はる カ學生園

東より通常通り列車運輸開始 作業を急いだ結果六日初い列 作業を急いだ結果六日初い列 作業を急いだ結果六日初い列

六時

明眸轟夕起子と

妻が贈

大る

稿

嵌て六

3/13 E

階の影法師

全部河間につれきす

魅力あるものであらられらの陣容の様りなす 台は大衆雪樂ファンに 財大マンドリンクラブの演奏 は飢棄の如くテイチク専屬 が弱されて、十日夜間一回限り があされて、十日夜間一回限り なになつたが、明大マンド リンクラブはたが、明大マンド リンクラブの演奏

満映に入社 の李明線

ンクラブと共 

あ

U

京野で ロケーションを行ったが、何がさて解頭の変月快車ロケーションを行ったが、何がさて解頭のことでたが、何がさて解頭のことでたが、何がさて解頭のことでたが、何がさて解頭のことでたが、何がさて解頭のことである。 本上砂家就總指揮、周鳴被監督の「大陸長虹」は撮影完督の「大陸長虹」は撮影完了、近日錄管開始了、近日錄管開始了、近日錄管開始了、近日錄管開始了、近日錄管開始了、近日錄管開始。 池田米太郎 長野庭嗣監督。池田米太郎 大野庭嗣監督。池田米太郎

定した 一支のは浮動のないで、 一支のは浮動のないで、 一支のが上の大きのは浮動のないで、 一支のが上の大きのが、で、 一支のが上の大きので、 一支のが上の大きので、 一支のが上の大きので、 一支のが上の大きので、 一支のが上の大きので、 一支ので、 一方のは、 一方のは、 一方のは、 一方のは、 一方のは、 一方ので、 一方ので 一方

◇鰻かば焼ミ丼◇

食道樂

第0二九四二

味覺で立つ

靑

●五寅の人 吉辰なれども勢 ひに任せ長驅すれば脱線す 壬と丙と坤が吉 も何となく落す。 ※油餅の出来の日表面は穏かの様

急激の打撃を受

本原をさくらうとする。 本原をさくらうとする。

年の名作小説講験俱樂部連載一 作班督監書映事軍船大 日九 35錢 "譜戀悲の淚の人若



九日 五日

寶塚少女歌 劇團快技

眼のあたり絢爛たる ステーチを彷彿させて 主催 バック、日傘ツ、ストへ、雑品破格大見切 大見切賣盡し 富七寫眞水式會 大新京日報社 子供服)特別奉仕 イヨ 階

催

ストローハツ

友仙船(炒

社人

0 最 美技を 收 85 る舞台 風景 0 樣

時八後午==時九前午 診休後年日祭曜日 ず非にり限の此は思急 光線療法科 ントゲン

●廣告の御用命は二位話三、三三○○番への 食道樂書 御家族連れて! 御散策の御歸りに! 料理を召しませ 青柳の夏向き 0 す 節 間週畵映作傑養子駒原

原

演

映勘

駒子主演

北滿經期調查 — 七月下旬米児 北滿經期調查 — 七月下旬米児 在北滿各频道沿線主要地穀物

原際における財来の

北滿主要地

産業部で柞蠶増産

最後的對策樹立

全國柞蠶關係者懇談會

橋本梅太郎

敵:前"

戰

1/4

說

大村滿鐵副總裁語る が既に承認した模様である 小麥粉廿四車

R限物徵

先い作弊が投け

+

ス日

以来,

足の打開策に就ては省が中心となり種々對策を考究中であったが差當り大連より二十四車(各等級品)を手當購入、国資業者への配給期當をなすことになり七日午後一時より 商工公會に小麥對策委員會を より小麥市場は當分持こたへ られるものと期待される 大連から奉天 にもので、雷婆者が にもので、雷婆者が しこれに對するか

大阪綿糸

に、吸々たる

来た。 地域に対域を指呼いは、 様々にして情報域を指呼いばれる。 里見八犬傳命流 .2.35 3.3 6 25

化嫁八十 十八のト切 ス 105, 4041

11015 200 4049 745 11.40 2.82 5.24 8.1 アパート交響等 闇の影法師

傳平追 討ち 16:30 2:13 4:56 7:1 2040 303 無も忘れて

映画御果内 登樂剛場

タガル 靴 洋品 病室新設 朝 各種子 0 便 通

電話③五五八五番! 新兄 秦 通 大阪市北區天神 西た番 地

新京日本福通七十四番 Ħ 雷 東京 BEE AAA E == B 프로

活紙和干 。字型洋版 铜式才 7 凸版七 雙發洋 造版簿フ 版引製印 賣受造刷 行

は \*\*のちごりや京染店 話 印 ③ 六三五四春

選擇 新 京東一條通

たといいまないといってもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくといってい

時計を生かすは技術 一度當店に御相談下さ 年晉 **维器** 

何回修繕しても。 の力

滿洲工業會

で九月一杯潜在のはずである 能丸で来迪、渦州曹達本年度 能丸で来迪、渦州曹達本年度

理事長來連

西川滿洲曹逵

市、南支は知らず、北支方 ・ 南支は知らず、北支方 ・ で、要害最も堅固だこ云はれた地、重要なる ・ で、要害最も堅固だこ云はれた地、重要なる ・ で、要害最も堅固だこ云はれた地、重要なる ・ で、要害最も堅固だこ云はれた地、重要なる ・ で、要害最も堅固だこ云はれた地、重要なる ・ で、要害最も堅固だこ云はれた地、重要なる

役員會 紫寶で

闘する最後的對策を関立する ならびにこれが合理的處理に ならびに閣談をなし作額増産

十日午後二時州分局會へ調室に第五十八回役員會を開催、完設工作、海貨調整工作に關する件で、海貨調整工作に關する件で、海貨調整工作に關する件で、海洲工業會支部規程改正による副支部規程改正による副支部機工業會支部規程改正による副支部機工業會支部規程改正による副支部機工業會支部規程改正による副支部機工業會支部規程改正による副支部機工業會支部規程改正による副支 大津のリ

九月操業開始 大日本セルロイドでは北支組 田の第一選手として資本金五 百萬順をもつて去る三月以来 天津にリンター工場を新設中であるが、八月一杯で諸般の 設備を完了来る九月より操衆 開始する、同工場は北支紀花 ファンの大量生産を行り調整

九月限 六、「六〇五、宋六〇 三軍 十月限 出來不申 十月限 出來不申 十月限 出來不申 十月限 出來不申 十月限 出來不申

各级株式市况 東京株 一芸の一芸の

の攻略酸は、十月六日原本鏡 なきやがったなアニ を占領した同常洗線遊響部壁 でづしてるぎ、店本 た京漢、正太線遊響部壁 の さして煙草でも吸つてる所 た京漢、正太線遊響部壁 の さして煙草でも吸つてる所 た京漢、正太線遊響部壁 の さして煙草でも吸つてる所 がある。 後野的な目標さ 一般であがのこ (人城する 千年の支那の を が を が に 大変の 高山地で に に

東京和町丸の内一・六後町村東京和町丸の内一・六後町村

相店 談所

春

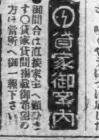
DA

御相談

三日より九日迄

若葉の夢線

豫告九日より



につけ足し

拿 王 祇園會 1200、5030 5025 8017 按信点 能放文1何を覺えたか 1005 504 6035 9004 摩 大液 ランプ ローフ 2017 405 704

朝田の脚書週間を開き場合

思議な確信にあ 言葉は、質にお ふれてある。

角に川章族を立て、

明月蛤御門養田浩吉主資

戦線に吠ゆ

動

宇宙の

主切

で、見せるで、 その様は必ず一を をかりまするで

た。んだのは藤井瀬 てある頻繁の方 とう答。でも、明治

歌の有性をきつざ院。 明治節だ! 明治節だ! 明治節だ! 明日

11.3

.244

機へながらそう て、潜剣したい 線がの中

統に除います。 油で 前に 報じ 観波

電話

『竜生ツ、早いこご娘子職を 焦慮を感じさせた。

街に出たお嬢さん

0

座

即

刷

帳簿

30

外の民家をそのまたした? なア、たじか?」 6不思議に射撃 帯けさの如き その支那兵

は は、同清製部職が の特長に居て は は、同清製部職が 、 と タ押した放子職に 地域 地帯を 職下って 有利 な 平下って 有利 な 平下って 有利 な 平下って 有利 な 平下った が 都 職が できる さの情報 部域の 特長に居て と タ押した 太 原 できる さい やっ な

がち過きす だが、今かた

がも過ぎた解釋 种まで飛び出す

睡眠不足にするために射撃を の夜響の夢を破つて日本兵を かって、 日本取

愛妻を背に(一)

40:5 1.25 7.30 長會稱虎衛 8.35

3.00

- 7

= 2

6.05

B曜は一○時二○分「長曾藤虎撒」より上映

7空

射撃さ去ふやう 全なった。 全なった。 全なった。 会程特殊の場

新京

十木マ

京

年の新柄

(假西院阴遗漏)二回亚和大

面电 色五

**九**隨意 日本赤十字社救療於

=

に 木 ンダ

「石家莊八日發楓通」蔣介石 山最近自己庭系軍に對して勢 は軍事行動に紛ふが如き行為 が何を問はず一律に暗殺せよ がの響金で發したといはれる をなずものに對しては階級の が明を問はれた李宗仁が最 が明を問はれた李宗仁が最 が明を問はれた李宗仁が最

鐵鋼輸入稅免除

総入税を免除し個内生産議例 対との債格調査を行つて来た が、今回産業五ヶ年計量の接 完に伴ふ難調査材の急需に對 度するため右動令改正案を入 目の傾務院資源に上程適適を 見たので近く参源所の設需に對 に入月十九日より施行する ことムなつた、改正版は左の

四品目追加

この密令を殺したもので李宗 石との確執はこれらが原因と が原因と なつて益々激化されてゐる

た関イハ

ごも確

でに、 中華 前九時より文相、 一年 前九時より文相、 一年 前九時より文相、 一年 前九時より文相、 一年 前九時より文相、 一年 前九時より交相、 一年 前九時よりできる 一年 前九時よりできる 一時 高間係の急を要する 一時 高間係の急を要する 一時 では、 一方では、 一方では、

(上) トリトダイノス 収表した【寫製は重要 の表した【寫製は重要 の表した【寫製は重要 の表した【寫製は重要 の表した【寫製は重要 の表した【寫製は重要 の表した

第川関政府は産業五ヶ年計畫 場に鑑る昨年八月勅令第二百 場に鑑る昨年八月勅令第二百

(日 瑶 火)

文部省定例省

たのであるやむを得ず某方面に二十ケ師を増

を憂慮する蔣介石と 害せぬやう

は到底為

且つ同軍を通じてソ

勝の援助に絶大の希望を繁

心かを物語るものである「寫眞上から

馮玉祥、毛澤東が大逢軍の感情

敵機を認めギ樟樹翁縣に停衛衛雄攻撃部隊は飛行場に、野中大尉の指揮する浙陽

【上海八日夏國通」と監報道 部八日正午競表=七日海軍航 部八日正午競表=七日海軍航 が近軍事施設を爆撃、これに 潰滅的損害を與へたほか左記 の活動をなせり

世撃て をお攻子破大及び した しむ 直入 してに上り分解

11

二九日三卷

蔣の疑心暗鬼

日に馮玉

地に於ける長期抗戰の展開線式(二)同方面におけ、毛澤東、周恩來等を招致し西北軍事教官會議を閉、全に遊離する妖態となり、その間共産軍が策動(小

官會議

の選を憂慮した蔣介石は八月一日、漢區に大軍を集結したが同軍が今後蔣の

トの死守

等を課願的に指令 等を課願的に指令



共産軍へ

の追從

四億三千五百萬圓に上つてゐ

ローマ郊外カステル・グランは六日三島園長に引率されては六日三島園長に引率されては六日三島園長に引率されては、「日」マ七日漫園通」イタリ

本年度豫算か

6

西南地區で

約二億五千

萬圓を節約

貴金属

を以て昨年八月六日成立、去 東政が成立した旨殺表した。 東政が成立した旨殺表した。 米ツ通商舊協定は期限一ケ年

**更改成立** 米ソ通商協定

る五日を以て鴻翔となったものだが新協定と大差なくソヴィエト聯邦は新協定においても前年通り差引約四千萬州のである

を るが、右の中公債金勘定の如 ・ 「億八千二百萬團を算するか ・ ら差別節約純計額は二億五千 ・ ら差別節約純計額は二億五千

親歯メッセーデと最初の日

ッ聯兵死傷

十マ教皇に謁見 大日本少年團ロ

ク新問数種を締呈した が日本で發行されたカトリッ が日本で發行されたカトリッ

境ま決き取るしてに

つて威力を完しつかり、野事及び飛行軍と共に投降を企て、野事及び飛行であり、

は悪くはないから少し 民の間位向上に力を社 民の間位向上に力を社

る者續出

にある條件をもつて承認し に現はれてある間は嚴鄙中止 を約束し得ず、また関境能 を約束し得ず、また関境能 を約束し得ず、また関境能 を約束し得ず、また関境能 を約束し

化的生活意
新の野とも見られるのである▼薬草腫を膜いてるのである▼薬草腫を膜いてする今日の児童の競力とは格力の党の意のをあることは何人も否 (国) 最近青少年の體力が を起したり二十分位の翻示に 職費血を起してぶつ倒れたり する青少年が多い▼その原因 は専門家の翻審なる検査に俟 たねばたらぬが我々の直感す るところによると躱りにも文

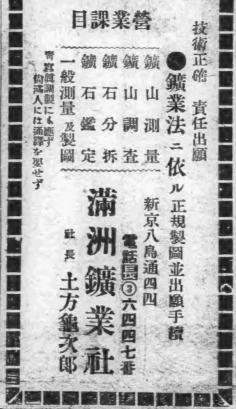
論旨 貫を缺く 重光· 協的態度 IJ 委員第一

一、免税適用品目に左の四ッ ・免税適用品目に左の四ッ ・ののと)中原療板(税番 一〇〇八の乙)鏡郷の管 番一〇〇八の乙)鏡郷の管 番一〇〇八の乙)鏡郷の管

ソ聯側主張

を興ふ (へ) 田家窟上流にを興ふ (へ) 田家窟上流にをはいて護雷布設作梁中の大型ジャクを爆撃、誘爆により沈没せしむ。 田家館上流には、一旦、田家館及びその上流地區で破臺を爆撃これを爆破せても航空部融は各所の陣地及び砲臺を爆撃これを爆破せても航空部融は各所の陣地及の電臺を爆撃これを爆破せ 1日モスクワで逝去し、 双タニスタフスキー

▲鹽見寅一氏(日本棉花) | 位々木源三氏(別術道具商) | 同 | 位々木源三氏(別術道具商) ▲大内定蔵氏(土麹請負)同
▲東島原吉氏(日浦バルブ)
滅崇ホテル ▲大久保徽二氏(賣社員) ▲字田新太郎氏(東北帝大教 授)四 事往來 目課業營



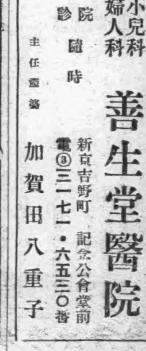
であるが、四日までに敵に與 と、一望千里の蒙古高原に殷 し、一望千里の蒙古高原に殷 と、力量が、四日までに敵に與 であるが、四日までに敵に與 であるが、四日までに敵に與 であるが、四日までに敵に與 であるが、四日までに敵に與 であるが、四日までに敵に與 であるが、四日までに敵に與 を娯襲 干の敵を包圍 大 機武器爆薬多数に上つてゐる 本 機関に於ける蒙古軍の活躍 五十の多数を算する有様で、 中 日蒙軍の緊密一體化によるこ の輝く殿杲は、殿史上特筆さ の輝く殿杲は、殿史上特筆さ

電車の で目標とする本年度豫算の簡 を目標とする本年度豫算の簡 を目標とする本年度豫算の簡 を目標とすること、 なられてるたが、この程成案 を得たので九日の開議に附議 で決定した方針に基き大 職省と各省との間に折衡が重 なられてるたが、この程成案 を得たので九日の開議に附議

聞その一部監選改権に演場 るほか顕著なる特極的行動 るほか顕著なる特極的行動

高島易斷 新京 京 京

ダイヤ街(永樂町) 表天平 20 三三七十一番 そ 支 ば





を以て認可を行つた

米ソ通商協定

「東京園画」ハワイアン・クリッパー競は和歌山縣沖/島 が近を航行中の大阪商船カンペラ丸に急遽現場に赴き敷助すべしと命令を發し、同船は で前十時廿分同船の大阪商船カンペラ丸に急遽現場に赴いたが、八日 指定の遭離側所と思はる、 海上にはクリッパー競はる、 海上にはクリッパー競はる、 海上にはクリッパー競はる、

日本の管理するの例をある河川の原産の管理する河川の管理する河川の原産の教育の例としている。

官吏の腐敗に

(="

國共問

題

しに調用を制力を

0

上實施する旨發度

カリツパー機の ・

0

野菜小賣相塲

1、人利1、克森公、大量

手形交換高 (六B)

訪

施設に益き認可申請中の哈爾なほ新學制條項中の特別教育

歯科修學校)に對しては八日

**法適用の範圍** 

商

指置 本法施行に関し訓令を 本法施行に関し訓令を

**商**化標

後八塩日

日九月八年三十和昭

法官、檢査官を派遣して監督

【モスクワ 七日愛園通】ソヴィエト政府は昨日(七日)タス通信社を通じ昨年八月四日一ケ年の期限を以て締結しセアメリカとの通商協定を翻後さらに一ケ年間その一部を改さらに一ケ年間その一部を改さらに一ケ年間その一部を改さらに、1000年間をの一部を改せることとなり、

附近地に翻

してゐる。その外農村胃年を配ける共産軍の勢力は三月を行つてゐる。それらの地方に根據する残りの共産軍は大衆動員計畫を立て、民族の共産軍の勢力は三月を行つてゐる。それらの地方に於ける共産軍の勢力は三月を行つてゐる。その外農村胃年を

政府や軍隊の中に増大し、

・ が國民黨と提携して大衆組 ・ が國民黨と提携して大衆組 ・ が國民黨と提携して大衆組 ・ が國民黨と提携して大衆組

ケ年計畫を

が地に視る

新されてある、炭田はそでの野猫に至つてある、炭田はそでの野猫に和随しくその延長七下の野棚に和随しくその延長七下の野棚に相随しくその延長七下の野猫、中中、その幅八キロからサービ路つて東は野郎より西は着いが高いました。 
一次の野来の輸送幹線たる、炭田はそでの場所を表示を表示の一部での場所を表示の一部での場所を表示の一部では、 
一次の野来の輸送幹線にある、この中心であるが一次にあってある。この中心であるが一次にあるが一次にあるが一次にあるが一次にある。

の結果をみせてるる、質に露示 の結果をみせてるる。 では、五龍平安區は では、五龍平安區は では、五龍平安區は では、五龍平安區は では、五龍平安區は では、五龍平安區は では、五龍平安區は では、五龍平安區は では、五龍平安區は

現在稼行中のものは探家興 の露天掤、新邱の五坑及び護 天捆、五龍、高徳の各二坑・ 太平、平安の各四坑の十七坑

下極東に闘する書籍の英集に では極東研究熱が旺んである が、ノルウエー王家岡書館で はこの関民の要望に願べて目 清朝實錄を 科響院學校は先設大學令に基白不識人經營の哈爾諸第一曲 開校認可さる

「上海八日發國油」上海添在 長韓雲階氏ほか甘粕、脳本雨 長韓雲階氏ほか甘粕、脳本雨 王の七氏は八日午前十一時日 本總領事館をはじめイタリー 本には八日午前十一時日 本には八日午前十一時日 本には八日午前十一時日 本には八日午前十一時日 本には八日午前十一時日 本には八日午前十一時日 本には八日午前十一時日 科醫學院

各國外交機關歷訪

歐使節

田 国南國友好難係の増進は文化 国 国南國友好難係の増進は文化 強」一部を同圖書館に答題することになつた、溶朝實盤は 文書等を收錄したもので康徳 三年十二月滿日文化協會の手に依り出版された得難き文献である

協和會では醫療機關に惠まれない全國農民に對し農村分會と も述じ積極的施療工作を行は しめるため今国衛生技術顕調 しめるため今国衛生技術顕調 一千個を作製し一箱二十五園 の類で全満各農村地區分會に 配布すること」なつた、特に で記者には百個を無料で配布 手をほか、昨年度各種の災害

錠剤を入れた 救急箱を 協和會で全滿農村に配布

寄付

唐辛 ý n 生

燈火管制に就て電業からの御知らせ

防衛司令部檢

閱濟

警戒管制

通りで而もカバーは要りません

1かつければなりません

する光線が窓枠面に出ない機に取付て下さい

ウ葱玉三パワセ日キ花サ水京高シ初ホフ小丸長野多南胡迦ク セケ ヤヤシ ンチレダナナナ英 ワ 

高級文具 紙加工品 曹門の店 中裔通 合品 林 洋 行 愛顧に酬ひ奉らん覺悟でお座います何卒一層の御引立の程お顧申上ます

文具の林洋行は常に時代に即した堅實なる優秀品を最低値段にて提供す 時局下政府の物價引下げ方針に則り弊店では益々研究努力誠を致して御 る店としての信條の下に不斷の努力を續けて居ります

燈火管制。就

街路燈

日本の警察所で販賣致して居りますは電架の警察所で販賣致して居りますが最内壁や門に電架の警察所で販賣致して居ります

十五六〇以、

入是四〇W。

六叠三〇♥、四量半二〇♥、二、三量十二♥。

は凝りませ

間「防空電珠」を御使用の場合ハカバー

て第一歩を踏み出したものと 成への途こそこの拍車として 成への途こそこの拍車として

Æ, 望の向は至急陰栗房に御申込頃ひます 球をゆるい は、大学のるめて消して下さい。 「電架」で消しますが最内型や門町燈、階段燈、ネオン燈等は總で各自御宅で消される事でなって居りますから特に御注意願ひます。

世界上口の (勝告用役光器を含む) 看板燈、ネオン燈等は總てスキー から取付御希

非常管制 一次入口は二重に敵を設け出還入りしても店内の光が残れない。 すから窓の轍をして下さい、尚敬のない窒は電燈を消に還入るときは電覺が三秒おきに遠鏡五回監滅致しま

やサイレンで通知があります 通知がありますから警戒管制の狀態に戻して下さ非常計劃が解除される時は電燈の監護は致しませ 致しませんがラデオ

七 非常管制

ますから御不便の御がは撤間等に切替への御申込を職には夜間線は設電所又は變電所で一括スキッチを切り

燈火管制

合せ下さい 一般が側座居ま

滿洲

與安大路營業

隔を認めればならぬものでは あるが、しかしその開致年大 の整を影響において占むる地位 女髪田にとつて限られた年大 において果してその開致年大

いしてゐるが、海州より

がくの如く明日への があてるるこの炭田が 満洲國第一期經濟建設 で満炭が康徳三年十月 で満炭が康徳三年十月

現在稼行中の孫家避謀天捆のの際には満州が無順と共に世

完成後における精選と

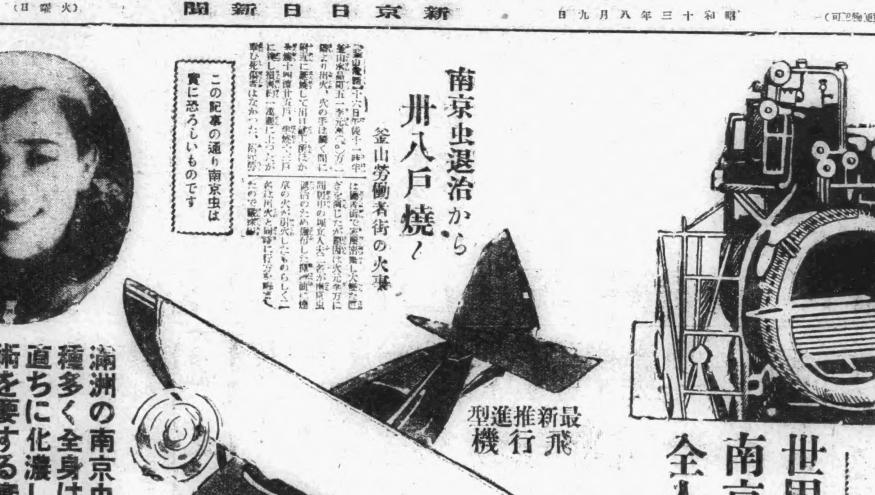
の選炭脂力に

キへばう世手のと霊太順二に抗

では、も稀すべき卓新の増添達成にでは、も稀すべき卓新の増添達成に 同様 見られる事となるわけである いかりした環境にある卓新炭 は極力軽率なる批評を避けて は極力軽率なる批評を避けて ないの促進に協力せねばな があることを思ふが先づその伸 がる現状を一巻しよう 孫家灣、太平等の採袋 がエルーの名で呼ばれ をたどれば、そこに「 をたどれば、そこに「 をたどれば、そこに「 をたどれば、そこに「 とを思ふが先づその伸 をを思ふが先づその伸 とを思ふが先づその伸

電が四十餘億と推定されてる はことを置ひ、今この凝田の 推定四十餘地と比較するとき 「東洋のザール」の呼稱も亦 當然ともいふべく、この凝田 の開發が直ちに日滿南画瞳進 への途に通じその原動力とも

7つと向上せしめ得る。 水洗選炭の設備



代理店募集 規定書郵送

百資 萬水 圓金

01

办

mi

話光

京

局 辰

四第

五二 O

達 智人回 0

四六十

絶す 3 U

C.F 松 3 なあ 27 2

何 送 四 料 半 六叠分

未然に防止

八珍味だけは全く理想的 南京虫殺虫劑は幾百干ミ敷知れ南京虫八珍味ミ云ふ粉に依つて で全部出て來 だ何故? 8 2000を注する。

京蟲を人間の耻辱こも二て病氣になるやうでは黄 早く試用して御覧なさい もその根絶が出來なかの威力!人智の發達も冷 ここが出來た譯だ。物 年苦心研究の結果南京虫がこても好んで食べ且その臭 で来ては滿喫し直ちに斃死するのである。噫! 科學 で来ては滿喫し直ちに斃死するのである。噫! 科學 でかつたが、これで完全に全世界の南京虫が忽ち全滅 物は試である果して全滅するか、しないかよっ! 科學 さい。春宵一刻價干金よ! なかったが、これで完全に全世界の南京虫が忽ち全滅 なかったが、これで完全に全世界の南京虫が忽ち全滅 なかったが、これで完全に全世界の南京虫が忽ち全滅 なかったが、これで完全に全世界の南京虫が忽ち全滅 なかったが、これで完全に全世界の南京虫が忽ち全滅 然るに南京虫に毎晩襲はれ熟睡出來ず極度に疲勞しさい。春宵一刻價干金なりで何より我々人間に必要物は試である果して全滅するか、しないかは一刻もカニオオ 何ミ忌々しいこの海蟲を一刻も早く

皆一時的で全滅しないがこの 眠安は虫京南 害妨 を

滅

やな南京虫の時季が來た併し今年

代

路經 果 一外 門 邊 西 大天奉

理 店 代 總

2

六 田 代 干 天.

八五目丁四町枝ケ梅京新

入前舍宿寄校學女島敷通島八京新

昌場浴島八

七三二三③話電

店

ルガリ ◇ 俊

◇際◇蹴◇球◇試◇合

合岡はよく全選手に徹底して普讪と舞らぬ欺敵が達の耳に入れるといふ超不無なゲーム、それでも握つて密判の合圏に従つて空砲を連役してやりやをリカーを関いて立立が射手

**珍聞・啞ミ聾の** 

布でこ

(問) 約三ヶ月位前から (問) 約三ヶ月位前から 腰のつけ根が痛み のからなぐり が出来

本元日 早起日 早起早寝は 長壽の基礼燈節約國家繁榮 長壽の基礼燈節約國家繁榮 長壽の基礼燈節約國家繁榮 名處は誰でも田來る。

(間) ですが今年の初め (間) ですが今年の初め ですが今年の初め ですが今年の初め ですが今年の初め ですが今年の初め ですが今年の初め ですが今年の初め でする東から次へ剝 で来ます、體の彼臨此處を 鬼が個と申す病気で御座あませ が何と申す病気で御座あませ で、又治療法詳細御教へ下さ

中等編別 音響の は 一 五朝の音樂 (大連) 一 五朝の音樂 (大連) 一 五朝の音樂 (大連) 一 五朝の音樂 (大連) 本 大変 と を 本 大変 と を 本 大変 と を を 本 大変 と を を を を

水の變態が一個で、新日本音樂を放道権祉中

七、〇〇二二和換なを

不可● 不和我 不可● 不和我

、三〇ニュース 興 等宮城道雄

七、三の前の

(東京)

エル・タワル

三、滿洲調 等合 资

宮城合寝團 宮城合寝團

演員を表十二

六

六

時間(東京)

ふの番組 「新京族送局」

剝ける 手足の

か

## 番守りませう

特がとけたら火からおろしまでなったけたら火からおろしまでなったけたら火からおろしまでなったけでがある。 これ、一寸煮立たせてから、昆布を引きあげ、砂糖七匁と唐を子一個をきざんで入れ、砂糖がとけたら火からおろしまでなった。

## 時間は は は は は は は は な い と き 要 は を に し 一 を に し 一 を に し 一 を に し 一 を に し 一 を に し 一 を に し 一 を に し 一 を に し 一 を に し 一 を に し 一 を に し 一 で に の の の に に の に 。 。 。 。 。 。 断岛區中 食が

本人日 (大野 ) 大田 (大野 ) 

本本語学の優が消えりや空に飛行機が舞びあがる。 本二十五日 学起日 一人の早起三文の標で皆でつとめりや千萬金。 りや千萬金。 たに保健につとめませら。 本二十七日 焦無し日 馴れてしまへば忘れておれど魚 には魚根を偲べ。 本二十八日 徒長日 健康節

本三十九日 内無し日 月なみに肉なし日だと思つたらみに肉なし日だと思つたらが近に實を結び貯金がまして類く一家。 本三十日 貯金日 一月の節約近に實を結び貯金がましてでで、一次。

全部川電田来たとごろで、深い鉢に入れ、その上から 際(大匙二杯)砂糖(大匙 三杯)胡椒(茶匙二杯)砂糖(大匙 三杯)胡椒(茶匙二杯)砂糖(大匙 三杯)胡椒(茶匙二杯)西桂粉 (茶匙半杯)酢(カップ一杯 )等の混合したものを注ぎ 入れて杓子でよくまぜ合せ ます、それを瓶又は硝子の しておきます。「選問位す しておきます。「選問位す

一流(二個)は半分に切り、一を剝き五分角に切つておく玉の皮を剝き五分角に切つておく玉の皮

す、之を頼かドンブリー からかは保ちます。ピークンドンではカフェークのおは保ちます。 お漬 方を紹介し マーナリに移し ・ 一十分たつと ・ 一十分たつと ・ 一 でも作

め

は二分位

コップ一杯位川窓 三

おり





大相撲電況 ・大相撲電況 ・大相撲電況 ・大相撲電況 ・大相撲電況 ・大相撲電況 ・大相撲電況

元、〇〇捕甲 三夜(東京) 一一で(東京) 一一で、東京) 一一で、東京) 時局讀木(東京) 放送管絃樂園

と一杯半、冷水タンプラーの 最初タンプラーへ四分の三 最初タンプラーへ四分の三 最初タンプラーへ四分の三 でつた汁を入れ、砂糖を入れて でつた汁を入れ、砂糖を入れて でのみます、こののみ際に入れ る用曹が非常と海凉の氣をそ

川簡單な作り方川

シュ指揮に

ネクター

粉砂糖大

習を送るへ第

九、三九時報・

屋のなかかり

田

ひさし

四〇北蘇の時間(哈思 無線 10

召上れば例へ様 ☆心地よく疲勞を 力をつくる・夏 夏飲料となるかもなく快適な銷 でも凌ぎにくい 眞夏です。 を促す等々の優 はどんなに喜ん おいしい健康飲 れた効果のある 寝を防ぐ 一安眠 ワインの御進物 て戴けることで 達者なお方 いお方は勿 赤玉ポート 萄 酒

荒井 田中

(及院 随意) 性內 病、痔疾科 小兒科 西本初級部 延月線

小内 兒 科科 電話(3)二盃二〇号



並見工務所 水道。修繕量 給排水設備工事は



僕と同じやうに、毎夜訪れ を上、間も無く出て行つた客は と、間も無く出て行つた客は と、間も無く出て行つた客は

かつた。

こゝには一度田舎の方で結婚し、それから外國職りのながそれも暫らくして破綻を来し、その後一人客してゐるといふ女。その女が十二歳かの子供のある或をしてゐるといふ女。その女が十二歳かの子供のある或がすることが書いてゐるといふのだがその仕事の方の事は一個はつきりしない。專らようした事情にある彼女の教授入事に見ふのだが、この雑誌に破つてゐるのを見ると何を持つたと話が見えるのはどうした事情にある彼女の感情の動ったが多の場合にしてある。この場合とれが甚だ内容低帝をあり得る。この場合とれが甚だ内容低帝をあり得る。この場合とれが甚だ内容低帝をあり得る。この場合とれが甚だ内容低帝をといふことがある。 う設明しながら、その時間は余り感心しないけど 動は余り感心しないけど 動は余り感心しないけど が良いのよ、最後が迚も が良いのよい。 の、味はへる歌だわし 內容低俗 (『文態春秋』八月號)

一林芙美子

に震艶につけられてある。その 唇の胸脂は血のやうに紅くの 唇の胸脂は血のやうに紅く見えるので心も続り後女に見えるので心も続り後女に見えるのであるが、しかし同時でまたあの先日の午後、彼女が哀れに話したことが思ひ出されて、思はず彼女への懐疑されて、思はず彼女への懐疑

ふやうにして彼の前に走 なた。突然彼を見いける のた。突然彼を見いける ない。突然彼を見いける

本東距離工經濟(八月號) 「端洲保險県の新精勢」「大 連に於ける茶の需絡狀況」 大二、大連商工會議所、四 八二、大連商工會議所、四 

帳簿專門 横向の致します 大和通四六/二 堂





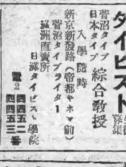












近を問はず敏速に御伺

あんま



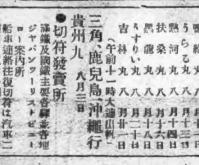
























日九月八年三十和昭

使は少しも悲劇しなかった一言の下に、はねつけられはしないかどの危惧を感じないではなかつたが。だが今ではそれは覺えないではなかつたが、現み通りの道程を辿りつゝ生長して行くのを秘かいに感じるやらになつた。

のび 胤練する屍のやらな呼吸を吐くの脳つた溝の臥 で黄疸いろの氣を疫みの疎觸な日光は

・ 日時 九月十八日(日曜 日)正午 日)正午 日)正午 日)正午 日)正午 日)正午

堇 日

童

松山市海南新聞社では俳聖子 情り居士の慰蒙俳道興隆の趣 により来る九月十八日正午 とり居士の埋髪塔ある松山市 末廣町正宗寺に於て俳聖子規 連幢俳句大会を開催すること となつたが、大會規定は左の ができる。

れなかつた、物法だたやうな 様子を發見し、その小さな居 は、馴染みの客にも閉され勝 ちになり、黒い眉毛は、垂れ かゝつた雲に遮られて、始終 が憂げに、その美しい處女に も似た瞳は、盆々愁ひに沈ん で行くかのやうに思へたから に悲しい歌に聞えるのかしらないところで、今にも起りさらな、現に起りつゝあるやうな無持がじてならないのよ」とう云ひ終つて、静かに彼女では限を閉ぢた。 「此の詩の中の二人は戀人 同志なのね、お互に深く愛し それ変だわね、それ変なんだ それ変だわね、それ変なんだ つてるた。 日溜りの疎懶な日光は で黄疸いろ あべぐ さけぶ 酸類の膨影に置まるべ のび 鬼舞する屍のやらな呼 整乎 日は慘として都會に願れ を 日は慘として都會に願れ

、 會費 金桑拾銭乗組と同い。 會費 金桑拾銭乗組と同い。 自衛 多會者は追悼短い。 追悼句 多會者は追悼短い。 追悼句 多會者は追悼短い。 選者 高濱盧子氏始め中央諸大家

女は(女子専門)の 新都職業紹介所へ 新都職業紹介所へ をはるがある。 「一四世界のでは、 「一世界のでは、 「一世界の

さる でいった でも私、そのや私魔分迷 ちったわ、でも私、その人のこ かったり、でもあたし本當に愛する人だったら、假令世間を追 はれても構はないと思つてる るわ、それで幸福だと思つてる るわ、それで幸福だと思つてる もし私に子供さへなかったら しっ彼女の際は低かつたが、 貝のやうな白い歯を見せただけで彼の方に媚を含めて美つた、だが彼の冷然とした顔を見るとすぐに美ひ顔ををさめ

の職業

業は

ばかりでな

大和運

新門寫翻

に依る

(日 曜 火)

大豆先物、證券、電話 實質電話高價買入れます。 東二條 通二七 本 二條 通二七七 大豆先物、證券、電話 大會随意 大會随意 派遣婦會 派遣婦を被町三八十 

金·金·銀高價買入 橫濱屋質店 東二條通二十五番 **公話**3四七七四零

タイプ印書 滿社

かどり茶園

サック 風化し易く用 名物性 の 百貨店 電土町二ノー四

前力

電話及金融

新京吉野町お茶道



末中央通り

接骨院

新京川最學院へ 新京川最學院へ 高原(3)二人四五

八番地

東二條通宗 光 光 光 光

堂療院

思はずまぢまぢと彼女の顔を 見た。 「結局情熱家なのね、本當 にお氣の寝な方だわ」さら彼 女は巡々と遠懐して口を閉ぢ な。僕は彼女がこんな事を打 いった。僕は彼女がこんな事を打 なった。僕は彼女がこんな事を打 なった。

和界に引越してたの!」 後は心中心配したことが解 消した、だが又さつき疑問に 然て冷たく彼女に問ひかけず なて冷たく彼女に問ひかけず

彼女は何にも言はなかつた

臺消

經濟結例

有効あり調料を行列の表別の大きない。

安心散

今辨慶 整骨院

に此の町を出て行つた人がる るのよ、もう隣分前だけど、 今日迄に、幾度となくそ人の 手紙が楽たわ、けどその度に 住所が變つてゐるのよ、無論

「どうだね?」 彼は彼女の肩先きを撫でて 等ねた。 『おかげ様で!』 『今度閘北の騒ぎでむの家は どうだつたの?お母さんぴつ

を呼んで二杯の茶をいいらのだから、Wは彼と彼女といいらのだがらい

の町を出て行つた人がえ

私のため

彼女は、

静かに語り

出

くして彼女は

はなっ

でれることもせ のでう

消印で列るわ……」













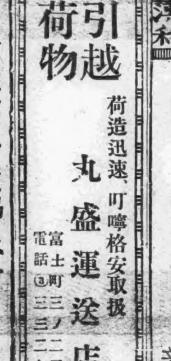




















建設の歌高らか

進國都

0

展

望

(5)

生山杉

新州博が出来て問もなく急 ・ 本平均から暮にかけて水道 ・ 本平均から暮にかけて水道 ・ 本平均から暮にかけて水道 ・ 本平也としたので重化氏 ・ 本脚査した結果、大同 ・ 本脚査した結果、大同 ・ 本脚査した結果、大同 ・ 本脚査したもの。 ・ 本間の井戸水

を納め谷所に井戸を二十本は を納め谷所に井戸を二十本は が多く水質が悪いので、更に が多く水質が悪いので、更に 段質の水を得ることが出来情く急場 の必要が生れ、先づ伊通河の を発したが凍却するほ

一般となり、遠に現在の小台子 一般となり、遠に現在の小台子 の現在の浮月潭を造りあげた か現在の浮月潭を造りあげた が豊富となつたので念を、壊纏元年から二 が豊富となつたので徐々に地 が豊富となったので徐々に地

…限なき膨脹

計

地震ないた。 本学務課長の開金の際に始ま が、西田油化憲兵殿長と岸谷 が、西田油化憲兵殿長と岸谷 が、西田油化憲兵殿長と岸谷 が、西田油化憲兵殿長と岸谷 が、西田油化憲兵殿長と岸谷 が、西田油化憲兵殿長と岸谷

を書に署名あり、次いで岸谷 を表り岸谷應長より程斌に工作 をあり岸谷應長より程斌に工作 を編人の記念として刀一撮を で大一時四十分式を終了した 同この工作除は十月頃揚靖宇 正の揺崩する輯安縣方面に出 動し齢順工作に常ら管で更生 れてるる

事

通化省特別工作

6

所謂消貨節約とか資源情選と かいふ根本的な問題を念頭に おいてかふらねばなちねとい ふことである、関発大歌は各 自せれな人に便製を念頭に をある、これらの人々はその はず古着を懸に古きものとして をののであらう。 であらう。 であらう。 であらう。 であらう。 であらう。 であらう。 であらう。 であらり。 であらり。

野力また古きものを活がけ、水く持ちつづける出来増強もいっても新調は矢張りいってはないか。いかにのではないか。いかにのではないか。いかにないから待ちつづける

歌に徹底され なこと、まれ ること、まれ ること、まれ きである。これは一に大型りのもの一切をはじめての他において数へ切れて多々あるはずである。 一大民衆運動である。 一大民衆運動である。 「大民衆運動である。」

市 立 陰 院 新京市立 として昨今一日平均千名內外 として昨今一日平均千名內外 として昨年十名內外 (切手一 関手一

長男忠(六月二十五 長男勝司 (ス月二一 ・ 大月二十四日) ・ 大月二十四日) ・ 大月二十六號 ・ 大月二十六號 ・ 大月二十六號 ・ 大月二十六號 ・ 大月二十六號

**會社組合設立手續** 法律顧問及鑑定

原

特法

特許商標出願審判

一八號花田忠維長 (六月十八日) (六月十八日) (六月十八日) 長男宗仁(六月十

S男英数(六月十四 『三一一中溫行寓森

田小

院患者の診療に大窟の態であるが患者の増加とよもに現在の八十名の看護婦では手不足なため夏に十名を左の通り募集してみる。 一、年齢十九才より廿五才迄の日人、看護婦養城所出かり取は検定試験に合格したもり取け、

性、 博基へ六月二

三年五月十四日) 一二年五月十四日) 一二年五月十四日) 一二年五月十四日) 一二年五月十四日) 二年五月十四日) 二年五月十四日) 二年五月十四日) 八 二年三月二月生)

商 席 御 用 達

用達

カネタ製麺拠工場

満獨助共、通商協定により雨 同の熟善はますます重厚を加 へつ」あるが獨逸では関内事 情一般を補別規内に宣傳する ため近く來朝するヒトラーユ を託し各地で展覽會を開催す るごとになり新京では十月一 日から七日間開催することに なつたがこれが海備のため十 日午前七時から関係者會合種 本具限的の打合せを行ふこと になつた

七月三日生)七月二日生)七月三日生)七月三日生)七月三十七日)七月二十七日(昭和十三年七月)









京 五 亞 三、四二五 二③電

切。

〇單. 〇單 ○單 〇純 新京吉野町二丁 0 0 衣 隘話 ③二一二四番

新

英二年長女登美

\*\*岩里天然学

内に於いて○○街の一年が網媒幣部財際に念 つぎはぎをした制限を て立つてゐるのを見て がけこそ非常時の心が がけこそ非常時の心が がけこそ非常時の心が

勘辨律 四理 等士師

献金二つ、※薬町一丁目八石 を貯めたものを皇軍慰問にと 金四順四十七銭客託した、大 を寄さんは金十圓を関防献金 でと答託した、大 でと答託した。大 消暗

出

記者團滯滿日程

胡同六〇二號四四有田

してある水は浄月潭二萬順地 り、来年は更に増大計量を進 めてある、將來順都人口の自 然増加に伴び淨月潭だけで更 に二萬順の母太可能となつて あるが、これに非水の水量を かるので園和の人口が五十萬となるので園和の人口が五十萬となる迄大體大丈夫た譯であ となる迄大體大丈夫た譯であ となる迄大體大丈夫た譯であ 研究を進めてる が現る が成功には が成功に が成功 が成功 が成功 が成功 が成功 が成功 がある

もそれだけでは

**企业的案员** 果園的な香のご味」 はあり、一本がある 来畑の中に 謎の國土其古の ひたみます

当

うだつてゐる、感極まつた姐 さん遠の悲鳴にも近い黄色な 認には正面に坐つた張總理も 脳の恐本秘書官と副見合はせ 相格くづし千鳥(勝者終松) 八千代(勝者六甲山)の五人 、三院屋の初切(射水川、

新京西廣場満銭県柴部で開催するが同劇圏は斯界の権威川村金次氏が主宰し社會こと

特券を刷込みサービスをなす 特券を刷込みサービスをなす 特別を認識を深めるため置者優 大型はこの機會に一般に陪審

る實際問題を提げて有罪か無 解本に拘泥した約束の裁判で 罪科の有無を審議するもので 罪科の有無を審議するもので

由型に新記録 ペ鍍千ヤー

ド自

毛生露は化粧

、今經濟部で開催の全滅でも、子供の謎かけでも

としての機能を充分競揮し得 といなった、大は新京安社長が住じ齊殿 長には平島支社長が住じ齊殿 長には平島支社長が住じ齊殿 長には平島支社長が住じ齊殿 長には平島支社長が住じ齊殿 長には平島支社長が住じ齊殿 長には平島支社長が住じ齊殿 とになった、大は新京安社内 とになった、大は新京安社内 とになった、大は新京安社内 とになった。大は新京安社内

北浦調査委員會を設

張總理も好取組みに大満悅

ため関査役を置くこと等職制の一部を改正することを決定で後六時散費した、なほ總裁では九日午前九時中の旅客機で

王殿忠上將 第一軍管 国司令官に補せられた王殿忠 上將は十日牡丹江愛上京十二 日の特任式に臨む筈である

六軍管風設置と同時に初代 司令官として安東地區警備 司令官より榮輔爾來滿二ヶ 年間東滿の治安確保に残し た功績は赫々たるものあり 今回の離任は各方面より性 しまれてゐる

りとの報に八日午前十一時会を橋附近に胸體のみの配體

本郷生十二名と、もに八日午 しく来京した、アメリカ側一 行は男子二十七名、女子二十 行は男子二十七名、女子二十

走らす

警護隊を

新京支社に調査委員會新設

ける大屯行き 新京輝、T・B共催で西廣場 新京輝、T・B共催で西廣場 が開は九日午前八時州分養 が開は九日午前八時州分養 が開まで出設、炎天下に副熱ハイキングを行い同日午後三時

氣な學生

さい

アメリカ男女學生團一行の

な國都入り

きのふ重役會議决定



苦心編纂した豪華な寫眞帳第 に が一ヶ月間東京に出張して でが一ヶ月間東京に出張して でが一ヶ月間東京に出張して も文記録寫真としても流石 ・ 大きさは四六倍判論がで、第 のの説明的なが、その間が別面の を業、經濟風俗等を機をしてい、第 がら大きさは四六倍判論がで、安東着 がの式明的で設行部數一版で、第 のの説明がで設行部數一版で、第 のの説明がで設行部數一版で、第 のの説明がで設行部數一版で、第 のの説明がで設行部數一版で、第 のの記明がで設行部數一版で、第 のの記明がで設行部數一版で、第 のの記明がで設行部數一版で、第 のの記明がで設行部數一版で、第 のの記明がで設行部數一版で、第 のの記明がで設行部數一版で、第 のの記明がで設行部數一版で、第 のの記明がで設行部數一版で、第 のの記明がで、第 のの記述を1を明めま 苦心の三編

また第二輯「若き滿洲」は漸 別國の潑剌たる姿を政治、経 海、室梁、文化各般に亘つて を験した滿洲國勢の一大報告 書とも言ふべきもので百頁の グラビア版大きさは菊到日獨 伊英の四ケ國の説明附で一萬 一五千部を使節が携行し、五千 部は實費一圓內外で一般に頭 第三瞬の「満洲國寫眞集」 は漢州國の一般的寫眞十五 は漢別國の一般的寫眞十五 伴ふ後任人事を八日左の如く協和會中央本部では宣傳科長 伴ふ協和會人事

令を發した、今回の體力調査 調査を行ぶやら八日各省宛訓 競技大會のほか青少年の體力

首都本部指導科長兼務を命ず 首都本部總務科長業務を命ず 育大會、難國體操、各種運動 育大會、難國體操、各種運動 等大會、難國體操、各種運動

結果は赤ん坊の屍體を野犬が、槍蹬の 大の標準體力を有する者に市 度より正式に實施する胃少年 度より正式に實施する胃少年 **怒長より體力優秀賞を授興す** 

表二時十分號列車で置任した 支周長及川六三四氏は八日午 港京中であつた同盟漁信天津 港京中であった同盟漁信天津

男女川(引はなし)名寄岩〇

西廣場同窓會

はへ出したものと 司

補附盤慰用行を続けてる 等 雕京

全滿書

列明した 後二時十分愛列車で北支へ向脇保方面に挨拶を終へ八日午脇保方面に挨拶を終へ八日午 け出致した

▲體力調査標準 「男子の部】走力、五千米 の距離を廿七分以内、重量 の距離を廿七分以内、重量 第一操及び第二操 (女子の部)走力、二千五 百米の距離を二十五分以内 電量運搬、一四瓩の物を約つて二百米步行、難國體操、 ・一型形の物を持 ・一型形の物を持 中午 上陰以来始めてみる海川 です。 本ところが平野は大きところが平野に最も終に対作を記述を表には驚難し、 かり是正されました。 かり是正されました。 かり是正されました。 です。 本から中央値には対作のでは、 一行のでは、 一行のに、 一行のでは、 一に、 一行のでは、 一行ののでは、 一行のでは、 一行のでは、 一行のいいは、 一に、 一行のいいは、 一行のいいは、 一に、 一に、 一に、 一に、 一に、 一に、

查實施

秀者には賞品授與

部市對抗 「東京國通 第三日の試合に雨のため中止 第三日の試合に雨のため中止 となつた東京尉釜石の準々決 となった東京尉釜石の準々決 を放っところまたまた雨のた

貸家を求む

松井少將

で離京 けふあじあ

及あじあで南下西任することを設定の製量等情につき奏上した現家口特務機關長松井太久を現立の製量等情につき奏上した。 になった

新任新京憲兵職本部附憲兵少 新任新京憲兵職本部附憲兵少 岡田憲兵少尉

瀧川博士北支へ

君のことくて、何處で仕入れたか浴衣がけに靴履きと言ふを軽な諸君も二、三ゐて愛嬌

光づ

・B、新聞其他關係

君は大好きである 君は大好きである

陪審法宣

名午前七時十分哈市より瞬京へ▲浦洲電楽野球チーム二○

裁判劇公演(漆號)

日から西廣場俱樂部で

中央通

阿岩 曾 時

世 帶道 具 0 加 店、

三笠町ニノーニ書

は 大日附夕刊掲載クーポン券進星廣告 中弊店等参加店として記載有之候へ 中外店等参加店として記載有之候へ で何等關係無之候に付弦に念の為め 店會 御

丸重洋行支店 新京富士町四丁目ノ四 保稅③五四四五番

大型金 道家 具具 其 什

電話三、路 三四七七號

返 UU 自由

•••••••••••••••••••••• 酒五 色蘭酸造元

金泰特製の風味佳良 \* 白白白 酒の御相談は お茶類入荷 (m) Ξ



加總一 午朝雲鐵能陸陸十 古華 薬明仙 野栗奥三 川山設外山 嶽楼洋洋銅錦

當選作發表

曲(小川)序曲(十字勳章)曲(小川)序曲(十字勳章) 合唱團の 「荒濡を設ふる 保膚があって映畵に移り海軍 秘蔵・名書に無命海軍の像 を数率場を敷河であると

音樂と映畵の夕

ラ容疑患者

歌

一發表の

點の作品中に全発 作品中より左の三階を選上に全端より集つた敷十年に全端より集つた敷十

つて一般から募集した宣傳ボウエー般の た宣傳ポ

**大目のコレラ容疑表**の活動に

野し細南絵査に常手したがなため興本部は民生部より川上 ため興本部は民生部より川上 防疫課長、王技佐はじめ率天 省警務廳衛生料重利技佐、安 東省警務廳衛生課安村技佐等 の衆援を求め聯起となつてコ

際協員歷生支部旅行團十名午 移民幹部候補者十八名午前九 移民幹部候補者十八名午前九

又もや奉天に發生 温る領の

滿 中 設轉廢並 行

廣

康 徳 五 年 八 月 猶現在總行營業處は八月十五日より當行北大街支行に變付來る八月十五日同所に移轉營業仕候間此段謹告仕候弊行儀豫而大同廣塲に建築中の總行行舍今般竣工仕候に 更南廣場大同大街興仁大路各支行は都合により八月十四

洲 中

行

通關代準 辨选 引越荷作

靴。御相談はタケヤ靴店へ 大田二田田

一九位三 碾茶・ 大茶 ・ 大茶 茶茶 茶茶 お茶道具一式」 - 取揃へました 和洋百貨

間変か、最为か。個人が一度順

いつまで書つても禁しの無いと

形は実践から消えて終た

「はアでれ

印地

助

で家老船横正太夫、 を重べ、 と水ツばい河麓の種つく

た。得意の鍵をもつて、

他したのは、駅人共が計略の煙火 何者かの戦みで、 第子の指の第五郎といふ者が、 あなたのお命を

まで既つても戻っては来な ては来なかっ

・ 特質の謎でもつて、果るか反

七島の歌は、鹿の夜た方を遡して「「特別の内に敷切者があつて、

(可認物運革種三第)

めたのは、 三石衛門や五太夫が、狼狽へ

関って来た。 煙穴が適んで、 それからのことであっ 人が散って、 能とが、



新

京

崇智

路

六

六

に對する豫防は充分出來でゐまれや子の生命を一瞬にして奪ひ行中です。 コでレ レラ、チを

亡國病ごHS線療法

電

話

2

立本店

横

正金銀行

銀行教育

店京

高

新京日本橋通三十四、

金金

壹億國(全額排込濟)

の御取次ぎ、内地への租署へも迅速に練取汲敛します小口預金十両より、定期預金百圓より、其他内間預金

内地向議州各地向も有利迅速に開取及致します便利に海相談中上ます

目

商信

查狀

業調

女男

淋病

すか?

像防法と して は

す。 吸著されて害を及ぼす事なく體外に排出 しても之を吸著無害ごし、又産出される とでも之を吸著無害ごし、又産出される のではない。 お妻を

(甘 曜 火)

紫の書し、歌の聞か

れる唇はない

七郎に内通でもせれば、

秘索の知

煙火の番組中、関一の呼び物の

「それなら領域代は、

指煙火に火の試入つたのは、

無しなつでは、除方は生も足も出

統に四方に眼を配り、神神なく

とも匿動へ限づて難でしまつたかっ無に権制づいて避げたか。それ

と立ちあがつてい

澤友吉商 京、京城・上 十三號路三七階地 店支店

會 就式





在

麻

宣宣

酒保用品

卸





●迷へば一生の損●



體 业 上 敷 諸官廳御用達

上敷

新



電話!三四四五季

三菱電氣

13

ij

ル

鍋ものいろり

かっ

ば焼

2

ば井

す

3

4.

牧特に良し 保存に耐っ消化吸 女行全需要の

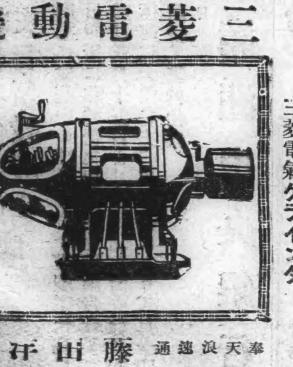
邦文タイピスト養成所

てあるため、水く であるため、水く

新京朝日通八十一番地就 聯 幹 旋

就隨以 上 職時

三菱電氣グラインダ



荷造運送 ○丸一公司 電三三八四三番



